

## 参加者アンケート

お名前 (ニックネーム可) : 柴犬

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

## 勉強会の感想

- ・ 子供引き離し問題について、熱心に聞かせて下さる都議が一人でもいらっしゃることは、本当に心強く、またありがたいと思います。
- ・ 明智氏のこれまでの苦闘とロビ活動のお話、とても勉強になりました。  
貴重

## 「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

活動をしていてもなかなか成果が出なくても、  
あきらめず元気で張りたいたいと思える内容でした。

ありがとうございました。

参加者アンケート

お名前 (ニックネーム可): 岡原 和也

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

勉強会の感想

明智さん、団体としての流れが勉強に力です。

顔ぶれを揃えていくのがいい。この辺りまで

問題に力を入れる。よ(2...)

「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

## 参加者アンケート

お名前（ニックネーム可）：細川 洋

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

## 勉強会の感想

社会活動をするヒントがもらえました。

「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

一般に問題があることも知ってもらうことが大切かなあと思います。

身近なところに自分の体験を話そうと思います。

## 参加者アンケート

お名前（ニックネーム可）：大伊 康夫

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

## 勉強会の感想

アドボカシー について 勉強になりました。  
ありがとうございます。

## 「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

当事者になったらすぐに相談できる窓口を設置してほしい

参加者アンケート

お名前（ニックネーム可）：

橋元

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

勉強会の感想

宮瀬さんは本物の亭感か  
しました

「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

問題から積みみて  
更に深い議論が必要

## 参加者アンケート

お名前（ニックネーム可）： \_\_\_\_\_

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

### 勉強会の感想

〇今日はありがとうございました。

宮瀬議員のお話し、私達の声も適格に都議会にあげて  
いただいたこと始めて知り、御本人の私達に向けて下エ、て、い、る  
方に感心しました。

引き続きお願いします。

### 「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

一致団結しこの内題の解決に向けて

がんばりたいです。 バグバグであることが 違くないことの1つでもあると  
感じています

「ひとり親家族」→長野の森に 変人になりさね。

参加者アンケート

お名前 (ニックネーム可): 山崎秀昭

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

勉強会の感想

概念をつくることが、重要であることが  
お二人の先生から理解できた。

セリイロという課は10年前には一般的  
ではなかったが、今は常識。

テーマ → 課 → 世論の形成という

~~道筋~~ ~~社会~~ ~~課~~

過程を大事にしたい。

「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見

長期的な方向性は、多少理解できているが

短期的な~~解決~~  
面での、解決方法... 台湾などの

ユニタクトをほめる、率窓口の設置などが、  
必要のように感じました。

## 参加者アンケート

お名前 (ニックネーム可): YU-PAPA

\*本アンケートは公開される可能性があることをご了承下さい。

### 勉強会の感想

私達の問題にかかわると選挙で不利になると言われていると多くの議員から聞かされてきましたが、今回宮瀬都議が毅然と問題を明らかにする復問に踏み込んで頂けたこと深く感謝します。日頃最終形の答申書だけしか知りませんでした。答申書調整という舞台裏があり、そこをあきらめずに攻防を繰り返していただいていたことがわかりました。追いつめ過ぎず、次回に繋げるポイントや都議会答申を区町村議会復問に活用するポイントをご教授頂けました。それらもふくまえ、第2部の明智氏の当事者による草の根運動の話を聞き、具体的にやるべきことのイメージが湧きました。明智氏の講義は具体的なノウハウをご教授頂けとても有益なものでした。当事者の敵は当事者になりがちで背中にとんざん矢が刺さるとのお話し「子の拉致引き離し問題」の解決に向けたご意見  
うなずいてしまいました

今回の勉強会で、地方議会への効果的な働き方や世論形成の努力の必要性が良く理解出来ました。学んで終わりにせず、実践していきます。当事者の気持ちに寄り添う定例交流会とともに、当事者による草の根運動の能力を高め、活性化するイベントの必要性も感じました。

「いつか」とか「次世代のために」といふ無責任な口実で、一日も早く我が子と自分が共に生きる権利を取り戻します。